はちのへ のうぎょうだより

平成30年7月号　No.522

のうぎょうだよりは八戸市農業委員会のほか、市内農協各支店でも配布しています。
また、インターネットではフルカラーでご覧いただけます。
○八戸市ホームページ
http://www.city.hachinohe.aomori.jp/
のうぎょうだより　検索

平成30年度事業計画を策定

八戸市農業委員会は、5月14日に八戸市庁において5月総会を開催しました。総会では、平成29年度事業報告、平成30年度事業計画が原案のとおり可決されました。

■平成30年度事業計画（抜粋）

国は、我が国の農業・農村が、将来にわたってその役割を適切に担っていけるよう、指針となる新たな「食料・農業・農村基本計画」を平成27年3月に策定し、「産業政策」と、「地域政策」とを車の両輪として進めるとの観点に立ち、食料・農業・農村施策の改革を着実に推進することとしています。

農業委員会に関しましては、平成28年4月に改正農業委員会法が施行されてから2年が経過し、この間、全国の約9割の農業委員会が新体制となりました。新制度における取り組みも「体制づくり」の段階から、制度改正の主眼である「農地利用の最適化の推進」について、着実に成果を挙げていくことが求められる段階となりました。

籠田農業委員会会長

当農業委員会においては、意欲ある担い手の育成・確保と経営支援の強化、農地の利用集積と有効利用の推進、遊休農地の発生防止・解消などの活動を積極的に展開することはもとより、平成29年4月に策定された「第11次八戸市農業計画」に沿って農業者の取組みを支援するとともに、市農業委員会憲章の理念に基づき、環境に調和した持続性の高い活力ある農業と農村社会の実現に向けて活動します。

■平成30年度の目標（抜粋）

○遊休農地の解消
　現在　315・5ha
　目標　10haの解消
○担い手への農地の利用集積・集約化
　現在　973・7ha
　目標　72・4ha増
○新規就農者の参入促進
　目標　10経営体　5・4ha

問農業委員会
☎43-2111内線4016

家族経営協定が締結されました。

去る5月2日、八戸市庁において荒谷家及び田村家の家族経営協定の調印式を開催しました。

調印式では、2組のご夫妻が、家族間で働きやすい環境づくりを目指し、仕事の役割分担や労働時間、休日などを定めた協定書に、農業委員会会長の立会いのもと、調印を行いました。

家族経営協定に興味をお持ちの方は農業委員会までご相談ください。

左から籠田会長、荒谷夫妻、田村夫妻

オラほのたから

今月号では館地区でがんばる、**寺沢友孝**（ゆうこう）さんを紹介します。

取材担当　館地区
三浦　豊　委員
寺沢　和則　委員
三浦　勝浩　委員
山田　貴光　委員

今回は、市内の会社で勤務する傍ら、農作業を手伝っている寺沢さんのもとにお邪魔し、お話を伺いました。

◎自己紹介をお願いします

工業高校を卒業し、専門技術系のプログラマーとして就職していましたが、現在は転職して物流関係会社に勤務しています。

地元では消防団に所属して、館地区代表の操法のメンバーになっています。

趣味は、カメラやアウトドア。カメラについては、かなり勉強しています。

◎農業のイメージは？

朝早くから夜遅くまで、ミニトマトの出荷や選果などがあり、きついイメージです。しかし、不規則ではあるものの、自分で経営できることには魅力を感じています。

取材に応じる寺沢さん

耕作へ、いざ出発！

◎将来的に就農を考えている？

現在就農はしていませんが、ミニトマト、水稲栽培の手伝いをしています。

担い手としては、親と比較されるので違う仕事を希望していますが、その反面、独立した農業経営で新しい作物として、わさびを栽培してみたいと考えています。

農業経営は、自分で考えて行動する。失敗はあるかもしれないが、生涯挑戦し続けることが出来る職業だと思います。

◎今後の抱負は？

わさびの栽培方法は、インターネットから情報を収集するなど、親から指導を受けるのではなく、自分で勉強して自分のイメージとして新しいものに挑戦したいと思っています。

◎取材を終えて・・・

寺沢さんは農業に夢と希望を持っている好青年でした。多忙な時間に、快く取材に応じていただき、ありがとうございました。

農地法関係の申請受付日等について

当委員会で設定している農地法第3、4、5条の許可申請・届出の受付期間等をお知らせします。申請内容や申請書類について、事前に農業委員会でご確認ください。

問 農業委員会
☎ 43-2111 内線4014

農地法許可申請

申請月	受付期間	許可書の交付日	
		3条/4･5条（30a以下）	4･5条（30a超）
7月	7/11-7/20	8/16	9/6
8月	8/13-8/20	9/14	10/4
9月	9/11-9/20	10/16	11/6

農地法届出

申請月	締切日	交付日	締切日	交付日
7月	7/5	7/13	7/20	7/31
8月	8/6	8/15	8/20	8/31
9月	9/5	9/14	9/20	9/28

※他法令との調整により、変更となる場合があります。

今月のPick up!（ピックアップ）

HACCPってなに？

先日八戸市内の事業所が、学校給食用のご飯などの炊飯製品についてHACCP（ハサップ）の認定を受けました。

HACCPとは、国際的にも共通な食品製造の衛生管理の仕組みのことで、Hazard Analysis Critical Control Point の頭文字をとったものです。「危害分析重要管理点」と訳されますが、簡単にいうと、食品製造の衛生管理の新しい方法です。

従来は、製造した食品が安全であることを確認するため、最終的にできあがった製品の抜き取りをして、細菌やかび・酵母、食品添加物などをチェックしてきました。しかし、この方式では全製品が安全であるという保証はありません。この方法に比べて、HACCPは原材料の入荷から製品の出荷までの製造工程すべてを対象にします。そして誰にでもできる方法で重点的に監視、チェックし、コントロールし、危害を未然に防止し製品の安全確保をはかる方式です。（アメリカ航空宇宙局が宇宙飛行士の食べ物の衛生管理をするために考えた方法だそうです）

この方式で、食品の安全性がより高められることになります。

米国やヨーロッパでは義務付けられているこのHACCP、家庭でもこの方法を取り入れてみませんか。

農業経営振興センターからのお知らせ

当センターでは、農業経営の改善のため、野菜・花き等の栽培調査を実施しており、平成30年度は、次の調査を計画しております。

調査内容及び作物の生育状況等の詳細は、電話またはご来場の上、お問い合わせください。

施設野菜の部

◆いちご・夏秋いちご
①種子繁殖型いちご品種「よつぼし」の品種特性調査
②八戸特産野菜いちご品種「麗紅」の作柄調査
③夏秋どりいちご（土耕栽培）の展示栽培
◆トマト・ミニトマト
①トマト（促成・抑制栽培）の品種比較調査
②ミニトマト（促成・夏秋・抑制栽培）の品種比較調査
◆ほうれんそうの寒締め栽培における品種比較調査
◆冬期間の施設利用による「こまつな」の品種比較調査

露地野菜の部

◆ねぎ
①品種比較調査
②リン酸減肥技術品種比較調査
◆ピーマンの品種比較調査
◆ながいも系統「園試系23号」の品種特性調査
◆にんにくの種子植付時期比較調査
◆糠塚きゅうりの栽培法比較調査

花きの部

◆トルコギキョウの品種比較調査（7～8月出荷）
◆カンパニュラの品種比較調査（5月出荷）
◆シネンシス系デルフィニウムの栽培調査
◆ディスバッドマムの品種比較調査（11月出荷）

その他、上記調査以外にも野菜・花きの展示栽培も行っております。

なお、平成29年度の野菜・花きの栽培調査実績については、当センターまでお問い合わせください。

また、栽培相談・土壌分析診断は随時受け付けております。

問農業経営振興センター
場所大字尻内町字毛合清水29
☎27-9163　FAX 27-9166

農業経営セーフティネット加入相談キャラバン開催のお知らせ

農業経営収入保険をはじめとするセーフティネットの各制度についての研修及び個別の加入相談会が次の日程で開催されます。参加をご希望の方は、申込期限までに八戸市農業経営振興センターへご連絡をお願いいたします。

開催日時	研修内容	申込期限
7/19(木) 13：30～15：30	農業経営収入保険と既存の類似制度について 野菜・花き価格安定制度について	7/17 （火）
8/23(木) 13：30～15：30	収入減少影響緩和（ナラシ）対策について	8/10 （金）
9/13(木) 13：30～15：30	農業共済制度について	9/3 （月）

○会場：八戸合同庁舎会議室（八戸市大字尻内町字鴨田７）
【申込先】
八戸市農業経営振興センター
☎２７－９１６３（平日の８：15～17：00）
FAX２７－９１６６

県選出国会議員への要請活動を行いました

5月30日から31日にかけて、三八地区の農業委員会会長による県選出国会議員への要請活動が行われました。

要請活動では、県選出の国会議員である大島衆議院議長、江渡衆議院議員、滝沢参議院議員、田名部参議院議員の関係者に要請書を手渡しました。

要請事項としては◎担い手への農地利用集積施策の改善方策、◎農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律への対応、◎農地利用の最適化の取組を支える農業委員会事務局体制の強化、◎担い手・新規就農対策、◎中山間等地域対策、等を求めました。

籠田会長（右から４人目）
※議員は本会議中のため秘書対応

編集発行　平成30年7月号　八戸市内丸一丁目1番1号　八戸市農業委員会（TEL 43-2111　内線4013）　印刷部数4，250部　印刷経費1部あたり462円

農地改良届について

水田を畑として利用するため客土を行うなど、農地として利用するために盛土又は掘削などの農地改良を行う場合は、あらかじめ農業委員会への届出が必要です。

ただし、残土処分場のように土砂等の処分のみを目的とした農地への土砂等の搬入は農地を農地以外のものにする行為にあたり、農地改良には該当しません。（この場合は、転用許可が必要になります。）

提出書類

①農地改良届出書　②計画書　③案内図　④誓約書　⑤隣地所有者の同意書

注意事項

●周囲の農地に対する日照、排水、通風及び道水路等に影響を及ぼさないこと。
●災害の発生を未然に防止し、万一発生した場合は自己責任において善処すること。
●農地改良において、表土扱いするなど、その土壌が耕作に適していること。
●農地の形質変更に伴い、耕作を中断する期間は、１年以内とする。

※なお、土地改良区の受益地内にある農地については、事前に土地改良区に相談してください。

問　農業委員会　☎４３－２１１１　内線４０１４

農地情報

新規の農地情報をお知らせします。詳細について確認したい方は、「全国農地ナビ」をご覧いただくか、農業委員会までお越しください。新規以外の情報は折込チラシにございます。

農地転用・農地改良につきましては、農業委員会や農業委員・農地利用最適化推進委員にご相談ください。

問 農業委員会　☎４３-２１１１ 内線４０１５

全国の農地情報の確認にはインターネットの「全国農地ナビ」をご利用ください。地図から農地の所在、地目、面積、所有者の意向などを調べることができます。

全国農地ナビ　http://www.alis-ac.jp/

■農地を売ります

	所在地			地目等	面積（㎡）	希望価格
	大字	小字	地番			
①	豊崎町	桜渡	17-1	田（農用地）	843	総額55万円
			30-2	田（農用地）	219	
		前平	22-1	畑（農用地）	903	総額50万円
			22-4	畑（農用地）	94	
②	河原木	谷地田	101-1	田（農用地）	990	応相談
③	河原木	河原木後	29	田（農用地）	2,082	総額50万円
		五反田	21-2	田	991	総額50万円
			26-1	田	838	総額50万円
		日渡	72	田（農用地）	991	総額50万円
		谷地田	60-1	田（農用地）	272	総額50万円
			60-2	田（農用地）	974	
			60-3	田（農用地）	438	

編集後記

健康のためにエレベーターではなく階段を利用しようというキャンペーンがあります。私事ですが、４月に農業委員会に異動となり、毎日５階まで階段を利用しています。これから暑くなりますが、挫折せずに階段利用を継続し、毎日農作業をされているみなさんに負けないように足腰を鍛えたいと思います。

暑くなると言えば！熱中症にならないように気をつけましょう。

のうぎょうだより担当　古舘